

## 新自然発見講座 中間中央公民館

『皿倉山から権現山』

2023. 11. 30

参加者：8名+2名（公民館スタッフ）

数年ぶりに再開された講座、18名募集して8名集まったそうで、皆、以前の参加者で、馴染みの方々でした。公民館バスの使用はなく、公共交通機関利用とのことでした。ケーブルカーを降り立つと気温5度で、曇りで寒々としていたが風は弱く、視界は良好。皆、防寒対策は、しっかりされていた。歩き始めると足元に散りたてのカエデがいっぱいで、参加者の一人が、「昨日テレビで皿倉山は今が見ごろと言っていたのに、少し遅かったみたいね」と言っていたが、くたびれていない落ち葉はきれい。タチカンツバキ、ウリハダカエデ、アオキとシロダモの赤い実、コマユミとカマツカにも小さな赤い実、などを見ながら皿倉平に下る。そこからは、皇后杉を目指して、照葉樹林の中を進む。



帆柱市民キャンプ場付近は、杉林の中。その一角にウマノミツバ、セリ、チドメグサ、ヤブマオ、イラクサなどが生えていて、イラクサのトゲに“キン”と触れてしまった私、夜中まで、指先がジンジンしてました。皇后杉を見上げた後、ベンチのある休憩所まで足を延ばし、アカガシを見る。柄の長い全縁の葉、ふかふかパンツ。少し引き返して権現山への登りとなると足取りが重くなる。コシアブラの白っぽい黄葉などを見ながら広い道に出ると、モミジの落ち葉が全体を埋め尽くしていた。皆、面白がってカサコソと、落ち葉を蹴散らしながら進む。



“奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の、、”などと言いながら。頂上は寒いので景色を見るだけにして、昼食はビジターセンターでとることになった。時間も押していたので、薬用植物園はカットし、代わりに



皿倉山の頂上

まで歩くことになった。展望台では、寒さのためか誰もおらず私たちのグループで占有、関門橋の向こうは、日が差していた。

紅葉は楽しめたと思う。

担当：手寫 久保田（記）